

### ティーンズ食堂（中・高生世代向け食事提供プログラム）

#### 取組の背景・目的

##### ●目的

中・高校生世代の自立支援、食育活動、貧困対策

##### ●取組の背景

約10年前、夕方以降活動している中・高生世代で、小腹を満たすため菓子を食べる児童や、「夕飯はどうせコンビニだし」と菓子パンを食べる児童、「小遣いがないから我慢する」という児童などがいた。心身ともに成長する重要な時期であり、偏食や「食べない」ことが良いのか、という葛藤が職員にあった。次第に「お腹空いた～」と訴える児童も増え、会議で対策を検討した。心身の健康、ならびに社会に出ていくための自立支援が必要と考え、簡単な料理（片付け含む）ができるようプログラムを立案した。

#### 取組の概要

##### ●実施場所

高輪子ども中高生プラザ内

※基本的に4F 研修室（キッチンが併設されている）

調理器具・消耗品は予算を計上し、順次交換・補充を行っている

##### ●実施頻度

月1～2回 18：30～なくなるまで

##### ●準備数

20名分を目安

メニュー（例）：カレーライス、豚丼、肉野菜炒めセット

##### ●職員体制

常勤 1名

##### ●事業の実施方法

予算：高輪子ども中高生プラザの指定管理者が指定管理費の中より計上。

## 工夫点・留意点

### ●工夫点

- ・無料で参加できる。ただし、自立支援のため、食事をする利用者は料理する、片付けるなどの作業を必ず行う。
- ・担当職員は世間話を中心に利用者とのコミュニケーションを図り、本人(たち)の素の姿や悩み・不安事を聞いたり、プラザでどんなことがしたいのか等意見を募る。それを会議などで共有・議題とする。
- ・メニューは簡単で、満腹が得られる内容にする。

### ●留意点

- ・参加希望者は、食物アレルギー表示(27品目)を確認してから参加。

## 取組の効果



## 課題・今後の展開

### ●課題

- ・参加者が固定化、男子に偏る傾向がある。PRが不足しているか、メニューの見直しが必要。
- ・予算、場所に限りがあるため提供数、提供時間を増やすことが難しい。

### ●今後の展開

- ・地域の方や企業に、料理の作り手や食材支援の協力依頼を行う。  
異年齢・地域交流を進め、地域でこどもたちの育ちを支える風土を作っていく。